

令和6年生駒市教育委員会第8回定例会会議録

1 日 時 令和6年8月26日(月) 午前9時30分～午前10時48分

2 場 所 生駒市役所 401・402会議室

3 審査事項

- (1) 報告第12号 臨時代理につき承認を求めることについて(令和6年生駒市議会第4回(9月)定例会提出議案の意見について)
- (2) 報告第13号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について
- (3) 議案第19号 令和6年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について

4 教育委員会出席者

教育長	原 井 葉 子		
委 員 (教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委 員	レイノルズあい
委 員	中 川 義 三	委 員	吉 尾 典 子

5 事務局職員出席者

教育部長	鋤 田 明 年	生涯学習部長	坂 谷 操
教育部次長	松 田 悟	教育総務課長	山 本 英 樹
教育指導課長	花 山 浩 一	幼保こども園課長	大 畑 勝 士
幼保こども園課指導主事	長 崎 文	幼保こども園課指導主事	牧 野 由 美
児童総務課長	武 元 一 真	生涯学習課長	井 川 啓一郎
スポーツ振興課長	西 政 仁	教育総務課課長補佐	松 田 美奈子
学校給食センター所長	桐 坂 昇 司	教育指導課課長補佐	中 田 博 久
教育政策室長	三 室 哲 哉	こども園準備室長	小 林 奈津子
図書館南分館長	中 川 公 子	図書館北分館長	谷 江 真美子
生駒駅前図書室長	入 井 知 子	スポーツ振興課課長補佐	大 畑 由 紀
教育総務課(書記)	吉 川 優 香	教育総務課(書記)	寺 川 寧 々

6 傍聴者 0名

午前9時30分 開会

○開会宣告

○日程第1 前々回及び前回会議録の承認

○日程第2 教育長報告

○日程第3 報告第12号 臨時代理につき承認を求めることについて（令和6年生駒市議会第4回（9月）定例会提出議案の意見について）

- ・ 補正予算について、鍬田教育部長、坂谷生涯学習部長から説明
- ・ 条例改正について、西スポーツ振興課長、大畑幼保こども園課長から説明

<参照：議案書p1～9、資料1～3>

（質疑）

レイノルズ委員：滝寺のプールに関してパブリックコメントを拝見させていただいた。屋外プールに限界があることの理解もいただいている。屋内プールの必要性、南小中施設の建替えにおいて検討する意見は良い案だと思った。しかしきらめきが南にあるので、南の方に屋内プール施設が集中してしまう。また、きらめきの駐車場にも限りがある。実現できれば良いと思う反面、学校敷地を一般の方に開放することは今までなかったため、それに対する新たな課題がある。生かせるところを生かして今後の市民プールの在り方について検討してほしい。

吉尾委員：プールのパブリックコメントを見せていただいた。皆、興味を持っているのだと思った。水の事故につながる施設なので管理も難しいだろう。プールを上回るような、気軽に体を動かせる新たな施設も理想としてあれば良いと思う。長い目で見て廃止することは賛成である。今後のことを考えながらよろしく願いたい。

中川委員：保育事業のところで、保育士が3歳は15人に1人、4歳は20人に1人になっている。先生方は子どもたちに配慮し事故がないようにやっていた。教育委員会も今後とも手厚く取組をお願いしたい。

飯島委員：エアコン修理やICT端末の更新等、出費の時期が決まっていない費用について、国庫補助金の見込みや自治体からの支出は付けられるか伺いたい。

山本課長：エアコンについては公共施設整備基金を使う。長期にわたる施設改修のため、使う資金を積み立てている。国庫の対象になるものは手続きを取るが、それに満たない場合基金を使う。ICT機器についても国や県からの補助が見込まれるので見逃さないよう申請していく。

吉尾委員：家庭的保育事業等の条例改正は来年の4月から施行されるのか。

大畑課長：9月議会で議決を得て、公布した日から施行される。改正されるまでの間については、令和6年4月1日から施行している国の基準が適用されることになる。

中川委員：体育館のエアコンの導入についての計画の見通しはあるか。

山本課長：今年度、小中学校の体育館については設計している。早ければ12月の議会で補正予算の要求をする。予定では令和7年度の夏に中学校、その翌年度までに小学校に導入できるように作業を進めている。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第4 報告第13号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について
・花山教育指導課長から説明

＜参照：議案書p10、別冊1＞

（質疑）

レイノルズ委員：毎年この時期に調査結果を共有し全国平均と比較していると思う。中学校の国語の問題が難しくなったのか平均が生駒市及び全国的に10ポイント以上低くなっている。記述式の問題に対して、本を読む時間が少なくなっていることが大きな課題であると思われる。子どもの頃に比べていろいろなメディアが発達し、本以外に情報収集が出来たり他に興味を惹かれることが多くなっている時代であり、本を読む時間を割くことは、大きな興味が無い限り少なくなっている。部活や塾や友達と遊ぶこと、SNSなどで時間を取られているのが中学生の現状である。生駒市はビブリオバトルや図書館の充実化など力を入れていただいているが、もう一步踏み込んだ取組が必要ではないか。例えばビブリオバトルを必須にしたり、読めば読むほどポイントが貯まるなど、本を読めば良い事があると伝えないと本を読んでもくれない。難しい時代になっていると今回の調査を見て考えた。さらに、ICTの活用についてだが、家でも授業でも使っていることが少ないと娘が言っていた。試験対策に時間を取られてICT活用まで手が回っていない現状があるかもしれない。1人1台配布されているのだから、どのように活用していけるか引き続き重点対策として考えていただきたい。21ページ「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」、49ページ「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか」のポイントが全国平均と比べて生駒市は低い。先生に余裕がなく忙しい背景を想像した。SOSの対策も出されているが、ある程度時間のゆとりがないと、生徒と向き合うのは難しいだろう。働き方改革や、デジタルツール等、先生の時間を上手く活用する政策を進めていると思うが、

生徒と向き合い、生徒との時間をどう作るか優先順位を高く進めるべきと考えた。

花 山 課 長：読書については小学校では朝読をやっており中学校にも広がっている。授業でタブレットを使ったものについては、夏にフォーラムと合わせて職員の研修をしている、授業改善を含めた伴走型の研修をしながら進めていきたい。困りごとの相談について中学校の指導主事に聞いたところによると、「小学校では先生に聞くと大事になる」「親に迷惑をかけたくない」といった気持ちがあるようだ。身近な人に相談して良いのだということを広めていきたい。

原井教育長：読書推進については、トライ子ども読書会議を年に2、3回行っている。保育園から中学校まで関係者が集まって話し合い、図書館司書の努力により貸出冊数が実績として徐々に上がっていると思われる。課題意識を学校現場に持っていただき更に取組むべきである。

坂 谷 部 長：図書館では市内の小中学校で1人1台配布されているタブレットを活用し、生駒市電子図書館の利用を進めようとしている。9月から試行的に桜ヶ丘小学校5年生全員に電子図書館のアカウントを配布し、図書館司書が電子書籍の使い方の出前授業を行うことで、新しい方法による読書の習慣を作る取組を考えている。

飯 島 委 員：学力については、それほど心配要らないと捉えている。27ページ、「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」について、小学校は全国平均とあまり変わらないが中学校では低い。30ページにあるように書籍が全国平均より多く、読書会議もあるため、自分で知りたい・学びたいという思いを生かす環境は既に準備されている。子どもたちの熱意を受け止めて利用していただけるように学校司書の先生方のご指導をいただきたい。新聞について、家庭で新聞を購読している数が減っていることで子どもたちが新聞を読む機会が減っていると思う。ますますインターネットに接する時間が増えている。信頼できるメディアに接する時間が短くなっていくのではないかな。スマホゲームをする時間なども増えている。NHKや新聞は信頼できるメディアとして子どもたちの認識があることは変わらない。かつて無かったインターネットの存在が子どもたちの中に入り込んでおり、テレビではなくXを見て情報を得ている子どもが多かった。Xは自分たちの興味があるものが出てくるため、意見が偏って正しい認識が得られない。インターネットとの触れ合い方を理解するために信頼できるメディアをどのように読解するか指導に力を入れて欲しい。家庭でもそのような活動を行っていただきたい。

原井教育長：新聞を取っていない家庭が増え新聞を読む子どもが減っている。新聞を教材化することが難しい時代になっている。インターネットの記事も含めど

のように判断し自分でどう活用するかという力を付ける時間を作っていきたい。

中 川 委 員：ＩＣＴを使って検索することに子どもたちは慣れていると思う。宿題や日記でも徐々に活用されている。３９ページ「自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができるか」について、ＩＣＴの活用等の研修会を含め子どもたちの思考力を延ばす一歩踏み込んだ取組を進めていただけたらと思う。

吉 尾 委 員：正答率のグラフを見ると学力が高いのが分かる。総合的にバランス良く子どもたちが育っている。子どもたちが偏りなく学んでいるからだと思う。子どもたちの実態を学校でも把握いただき、生かしてほしい。真面目に取り組む子が多く、自分で自分の学びにできる力を持っているが、疑問として出しにくい状況が課題としてあるのではないかと思う。子どもの疑問について、たとえ授業が止まったとしても大切なことは立ち止まって一緒に考えることが大事だと思う。また、小学校でのＩＣＴ活用を中学校に生かしていないのなら、小・中の連携も大事になるのではないか。授業の内容が良く分かるという項目が高く、大事にして欲しいところである。先生に褒めてもらっているという項目が低いことや、いじめはいけないと思わない子どももたとえ少数でもいることに対して大人が考えていく必要があると思う。子どもたちが学校は楽しいと思う概念の中に、友達同士で切磋琢磨し一緒に乗り越えていくことが楽しかったという経験をたくさんさせてあげたい。教育フォーラムに参加したが、その内容から学校現場がますます変わっていく認識を持った。子どもたちが選択し主体性を持つことで、この学力調査の結果も変わっていくのではないかと思う。総合的に子どもたちの育ちを見て行って欲しい。次の教育要領改訂で予想されるカリキュラム・オーバーロードについても学校と共に考えていてもらいたい。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第５ 議案第１９号 令和６年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について

・令和６年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について、鍬田教育部長から説明
<参照：議案書ｐ１１、別冊２>

(質疑)

飯 島 委 員：昨年の報告書から、教育委員会の活動状況について活動の施策状況一覧を書いていたので今年度何を実現して何が上手くいったのか分かりやすく書いていただいているため、点検評価に対する意見が多く出て、非常に具体的に読み取れるものになっている。

吉 尾 委 員：とても分かりやすく、PDCAを意識して作られている。来年度への課題も明確になっている。これを進めていく事務局として、市民や子どもたちの生の反応はやったことの評価につながると思うのでそれを意識することが大切であると思う。今後も生の声を大切にしてほしい。

中 川 委 員：方向性も内容も、数字と言葉で説明していて一般の方にもとても分かりやすい報告書になっている。今後どこを削減・精選するか重点化して方向も決めていただけたらと思う。

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第6 その他

- ・「市内小中学校における熱中症発生状況」について、花山教育指導課長から説明（質疑）

レイノルズ委員：思ったよりは数が少ないと感じた。先生方の成果だと思う。日本の災害級猛暑は今後も続くであろう。体育活動や部活動のあり方、時間帯の工夫を近い将来真剣に考えていく必要があるだろう。

吉 尾 委 員：火災や防災に関する避難練習がある。熱中症で倒れた時の初動に対する訓練なども考えていただけたらと思う。

教 育 長：AEDの救急救命の講習は6月のプールが始まる前に行っている。使い方、連絡の仕方や役割分担も行っている。今回生駒市の熱中症の研修会の時に消防署の有志の方に救急救命等の話を聞く機会があった。今後も消防署と連携し進めていきたい。

- ・令和6年9月行事予定について、山本教育総務課長、井川生涯学習課長から説明（質疑）なし

審議結果 【原案のとおり可決】

○閉会宣告

午前10時48分 閉会